

●市販の入浴剤は浴槽や給湯器への影響は



使用上の注意として取扱説明書には「イオウ、酸、塩分を含んだ入浴剤は、給湯器の材質を劣化させ、寿命を損なうことがあります・・・」といった主旨のことが記載されています。

また入浴剤によっては **FRP** の一部や大理石の浴槽の表面のつやを失わせるものがあります。

そのほか、入浴剤が含んでいる成分によっては、給湯器や浴槽の故障の原因になるものや、故障ではなくても追い焚き時の湧き上り音が大きくなるものや給湯器が点火しなくなってしまうものもいくつかあります。

湯に溶けない成分が含まれていると、全自動給湯器タイプでは、水位センサーのような敏感な部分の内部に侵入した場合には故障の原因となることがあります。

炭酸ガス系は、発生したガスが給湯器内のポンプ近辺に集中すると、一時的に追い焚き機能に支障をきたすことがあります。

酸化チタンが含まれている入浴剤は、給湯器内部の湯垢などに濁り成分が一部付着し、循環孔のフィルターを十分に水洗いするようにしましょう。

給湯器内で音を発することがあり、入浴剤の料によっては大きな音がするものがあり、少量でも、毎日使用し掃除を怠ると、給湯器に蓄積し音が出ることもあります。

欧米には給湯器はないため、海外の入浴剤は給湯器に対して考慮されていないことが多く注意が必要です。

一般的な注意

1. 入浴剤を使用することで問題が生じるのは、ほとんど追い焚き時なので、入浴剤を使用するときは追い炊きしない。
2. 堆積する入浴剤の場合、時間をおくと取れにくくなるので、入浴後、できるだけ早く掃除をし、給湯機内をきれいにしておく。
3. 入浴剤は規定量以上を使わない。